

甚重し得之に似て供出部名に酒令に株券あり買
 収之を為す下出船之株を後言ふに之をかしけり下より
 悦み金に後部一は字等より之を知るに之より一般船
 是の付通内陸に望むに之の協調を極言するに
 川下船は隊美甚しといふに其改に似て供出部は付費
 如きに別を配當し依り維持せし現に供出部は二カ
 算之供出に七カヤ一一般梅の之に付極方極く此地
 こそより毎に世に移部之意思は均等といふに不快
 上のし是の模様は株の批難は吉く為すといふに多
 かり

三 此の日本梅は世に孔の物に梅上大泉水 独自の地位
 して在り梅の多し梅七の嫌より初期第が未だ不更
 なる如きに梅の買下りしに批難高きと雖も前に如き

前記の如き及世に此の地位はトクハ一大打撃ありト
 乙は世に之の密教 防上とせりかゝるセリト云ふ